

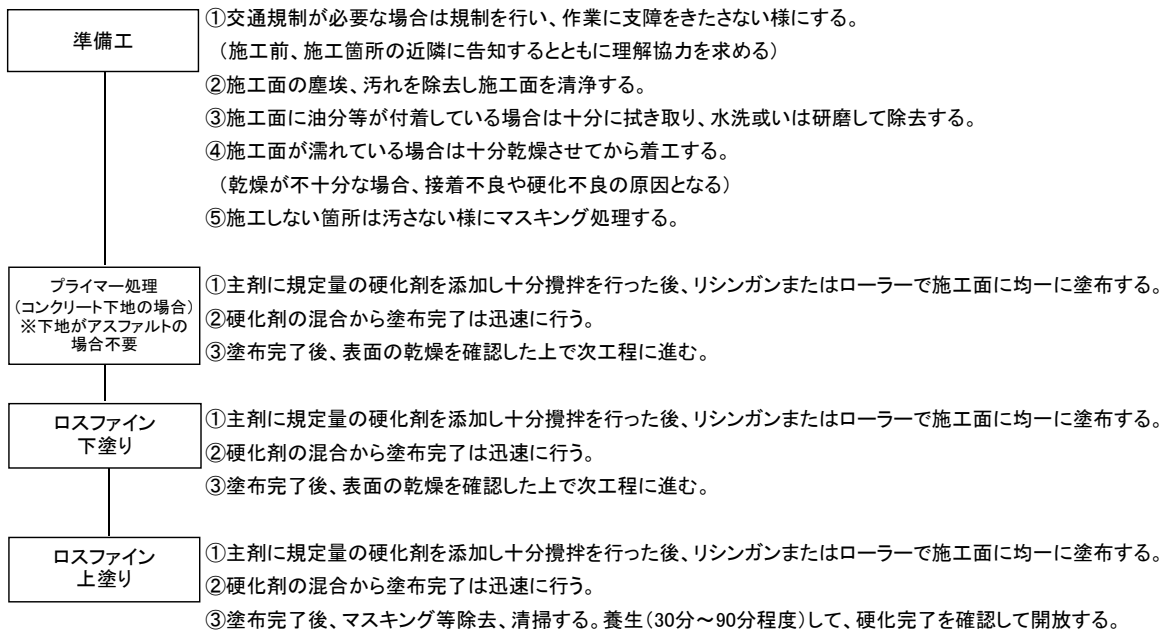
ロスファイン 施工要領書

工法	リシガン/ローラー工法		2液混合型スプレー工法	
	アスファルト下地	コンクリート下地	アスファルト下地	コンクリート下地
プライマー ※1	主剤 (100部)	不要	P-100/TMT-18(低臭)	P-100/TMT-18(低臭)
	硬化剤 (1~6部)		ナイパ-NS/8%Co+カヤメックL	ナイパ-NS/8%Co+カヤメックL
使用量		0.15~0.25 kg/m ²	0.15~0.25 kg/m ²	
ロスファイン 下塗り	主剤 (100部)	NS218/NS452-TPX(P2)シリーズ		NS452(A)/(B)
	硬化剤 (2~6部)	ナイパ-NS		ナイパ-NS
使用量		0.4~0.6 kg/m ²		0.4~0.6 kg/m ²
骨材	散布量	不要 ※2		7号珪砂 または、B粒硬質骨材 散布(0.4~0.6kg/m ²)
ロスファイン 上塗り	主剤 (100部)	NS218/NS452-TPXシリーズ		NS452(A)/(B)
	硬化剤 (2~6部)	ナイパ-NS		ナイパ-NS
使用量		0.4~0.6 kg/m ²		0.4~0.6 kg/m ²
施工方法		リシガン または、ローラー		2液混合型スプレー装置

※1 下地がアスファルトの場合、プライマーは不要です。コンクリートモルタルの場合、モルタルの樹脂バインダーの種類によって、プライマーを選定する必要があります。

※2 TPXシリーズは、あらかじめ骨材を内添している為、現場での散布作業が不要です。

リシガン/ローラー工法施工手順



注意事項

- (材料)
- 樹脂および洗浄剤は危険物であり引火性があるので、現場付近では絶対に火気を使用しない。
 - 樹脂および硬化剤は冷暗所で保管し、現場では直射日光を避け、できるだけ日陰に保管する。
 - 樹脂は皮膚に付くと炎症を起こす場合があるので、付いた場合は直ちに水洗、中性石鹼で洗浄する。
眼に入った場合は、直ちに流水で十分に洗眼し、医師の診断を受けること。
 - 全ての材料について水分の混入には十分注意すること。
濡れたり、水分を含んだ材料の使用は、硬化不良や強度発現性の低下を起こす危険性が高い。
- (施工)
- 路面温度、気温、天候を確認した上で、施工可能か慎重に判断を行う。
外気温が5~35℃、及び路面温度が5~35℃の範囲で施工して下さい(夏用は路面温度上限45℃)。
特に降雨時の施工は絶対に避けるとともに、夜間施工の場合は夜露に対しても十分注意を要する。
水分の混入は界面剥離や硬化不良の危険性を著しく高めるため、施工可否の判断を行う際は絶対に無理をしない。
 - 樹脂の混合は、その都度必要量だけ行い、練り貯めはしないこと。
 - 施工間隔が空き、塗り継ぎが必要な場合は、塗り継ぎ部の50~100mmを塗り継ぎしろとして残り、次回施工時にサンディングを行った上で塗り重ねを行う。